

病害虫発生予報

第6号（9月予報）

令和6年8月28日

岐阜県病害虫防除所

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	9月予報	
			発生時期	発生量
水稲	穂いもち	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや少
	ツマグロヨコバイ	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	多
	トビイロウンカ	栽培地域全域	平年並	少
	斑点米カメムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや多
大豆	カメムシ類	栽培地域全域	—	多
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	多
かき	ハマキムシ類	岐阜・西濃、中濃地域	やや早	平年並
なし	黒星病	栽培地域全域	—	やや多
果樹類	果樹カメムシ類	栽培地域全域	—	多
夏秋トマト	灰色かび病	中濃、東濃、飛騨地域	—	平年並
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	—	やや少
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	—	多
	タバコガ類	栽培地域全域	平年並	やや多
	アザミウマ類	栽培地域全域	—	やや少
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	—	多

※発生時期の—は連続発生

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）

<https://pesticide.maff.go.jp/>

【発生予報・根拠・注意事項等】

I 普通作物

1 水稲

穂いもち	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並（9月第3半旬頃）	やや少

(1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（＋）、少くなる要因を（－）で表記）

ア 中晩生種の出穂期は、平年並と予想される（±）。

イ 葉いもちの発病株率は、岐阜・西濃、中濃地域で低かった（－）。

ウ 穂いもちの発病穂（株）率は、岐阜・西濃、中濃地域で低かった（－）。

エ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は多い（＋）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 出穂期以降の多雨は、本病の発生を助長するので、葉いもち多発ほ場では特に注意する。

イ QoI 剤に対する耐性菌が確認されているため、薬剤の選択に注意する。

※ 病害虫図鑑「いもち病について」もあわせて参考にしてください。

ツマグロヨコバイ	対象地域	発生時期 <幼虫最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並（9月第2半旬頃）	多

(1) 予報の根拠

- ア 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で平年並（±）、中濃地域で多かった（+）。
 イ ほ場での発生量は、すくい取り（20回振り）、払い落とし（25株）ともに、多かった（+）。
 ウ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は多い（-）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 地域による発生量の差が大きいので、発生状況に注意する。
 ※ 病害虫図鑑「水稻 ツマグロヨコバイについて」もあわせて参考にしてください。

トビイロウンカ	対象地域	発生時期 <幼虫・成虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並	少

(1) 予報の根拠

- ア 予察灯での誘殺は、認められていない（-）。
 イ 8月下旬調査で発生は、認められていない（-）。
 ウ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は多い（-）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 今後の発生状況等について、「病害虫情報」等に注意する。
 ※ 病害虫図鑑「水稻 セジロウンカ・トビイロウンカについて」もあわせて参考にしてください。

斑点米カメムシ類	対象地域	発生時期 <最盛期>	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	平年並	やや多

(1) 予報の根拠

- ア 出穂期は、平年並と予想される（±）。
 イ 予察灯でのカメムシ類の誘殺数は、アカスジカスミカメで多く（+）、アカヒゲホソミドリカスミカメで少なかった（-）。
 ウ 本田での発生量は、岐阜・西濃地域のすくい取り（20回振り）で、イネカメムシの捕獲数が多かった（+）。
 エ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は多い（-）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 散布剤による防除は、穂揃期及びその7～10日後の2回を基本とする。
 イ 粒剤による防除は出穂期の7～10日後が基本となる。ただし、剤によっては施用時期が異なるため注意する。
 ウ イネカメムシに対しては、一般的な斑点米カメムシ類と異なり防除時期が早く、粒剤による防除は出穂期の5～10日前が防除適期となるため、前年の被害ほ場及びその近辺では防除時期に注意する。
 ※ 病害虫発生予察注意報第2号「水稻：斑点米カメムシ類」（令和6年7月19日）、病害虫図鑑「斑点米カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

2 大豆

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

- ア 予察灯への初飛来は、岐阜・西濃地域で遅かった。
 イ 予察灯における誘殺数は、岐阜・西濃地域で多かった（+）。
 ウ ほ場での発生は、岐阜・西濃、東濃地域ともに認められていない。
 エ 向こう1ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は多い（-）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 雑草が多い地域や山間地など、地域、ほ場によって発生状況が異なるため注意する。

イ 播種が遅れたほ場については、防除時期に注意する。

※ 病虫害図鑑「大豆 カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃地域で多かった（＋）。

イ 白変葉の発生量は、岐阜・西濃地域で多く（＋）、東濃地域では認められていない（－）。

ウ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

イ フェロモントラップを設置してモニタリングしているほ場では、今後の誘殺数に十分注意する。

※ 病虫害発生予察注意報第３号「大豆、野菜類、果樹類および花き類：ハスモンヨトウ」（令和６年８月２３日）、病虫害図鑑「大豆 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

Ⅱ 果樹等作物

１ かき

ハマキムシ類	対象地域	発生時期＜第４世代幼虫最盛期＞	発生量
	岐阜・西濃、中濃地域	やや早（１０月第２半旬頃）	平年並

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップにおける第２世代成虫の誘殺最盛期は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキ、中濃地域のチャハマキでやや早～早かった（＋）。

イ 予察灯における第２世代成虫誘殺数は、チャハマキでは、岐阜・西濃地域で少なく（－）、中濃地域で多く（＋）、チャノコカクモンハマキは、岐阜・西濃、中濃地域ともに多かった（＋）。

ウ フェロモントラップにおける第２世代成虫誘殺数は、岐阜・西濃地域のチャノコカクモンハマキで平年並（±）、中濃地域のチャハマキでやや少なかった（－）。

エ ほ場での第３世代幼虫被害果率は、低かった（－）。

オ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ヘタ部やつづりあわせた葉内などに生息するため、薬剤防除はていねいに行う。

※ 病虫害図鑑「かき ハマキムシ類について」もあわせて参考にしてください。

２ なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア 発病葉率は、岐阜・西濃地域で少なく（－）、中濃地域で多かった（＋）。

イ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は多い（＋）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 多発園では秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。

※ 病虫害図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

３ 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃、中濃、東濃、飛騨地域	多

(1) 予報の根拠

ア 予察灯における成虫誘殺数は、多かった（＋）。

イ フェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃、中濃地域で少なく（－）、東濃、飛騨地域で多かった（＋）。

ウ 被害果率は、岐阜・西濃、飛騨地域で高く（＋）、中濃地域で低かった（－）。

エ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 気温、湿度が高く、風が弱い夜間に飛来が多くなるので注意する。

※ 病害虫発生予察注意報第４号「果樹：果樹カメムシ類」（令和６年８月２３日）、病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

Ⅲ 野菜

１ 夏秋トマト

灰色かび病	対象地域	発生量
	中濃、東濃、飛騨地域	平年並

（１）予報の根拠

ア ８月下旬調査で発病果は、認められなかった（－）。

イ 発病株率は、やや低い～低かった（－）。

ウ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（－）、降水量は多い（＋）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 薬剤耐性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「トマト 灰色かび病について」もあわせて参考にしてください。

２ 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

（１）予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、岐阜・西濃、東濃、飛騨地域で少なく（－）、中濃地域が多かった（＋）。

イ ほ場での発生量は、ナスでは、岐阜・西濃、中濃地域で少なく（－）、東濃地域が多かった（＋）。
トマトでは、中濃、東濃、飛騨地域で少なかった（－）。ダイコンでは、中濃、飛騨地域で少なかった（－）。

ウ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

（１）予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、やや多～多かった（＋）。

イ サトイモでの発生は、岐阜・西濃地域で多く（＋）、中濃地域で認められなかった（－）。

ウ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫発生予察注意報第３号「大豆、野菜類、果樹類および花き類：ハスモンヨトウ」（令和６年８月２３日）、病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類 （野菜類）	対象地域	発生時期 <若齢幼虫最盛期>	発生量
	栽培地域全域	平年並（９月第２半旬頃）	やや多

（１）予報の根拠

ア 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺時期は、中濃地域でやや早かった（－）。

イ 野菜類のフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、やや多～多かった（＋）。タバコガ

の誘殺数は、中濃地域で少なく（－）、東濃、飛騨地域でやや多～多かった（＋）。

ウ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

アザミウマ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

（１）予報の根拠

ア ナスは場での発生は、岐阜・西濃、中濃地域で認められず（－）、東濃地域で多かった（＋）。トマトほ場での発生は、認められなかった（－）。

イ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「キュウリ ミナミキイロアザミウマについて」もあわせて参考にしてください。

３ 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	多

（１）予報の根拠

ア トマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、多かった（＋）。

イ 向こう１ヶ月（8/24～9/23）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は多い（－）と予想される。

（２）防除上注意すべき事項

ア 発生はほ場ごとに差があるため、ほ場内をよく観察し発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

【参考資料１】【８月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：８月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
水稻	穂いもち	少	少	多	並
	紋枯病	やや少	少	少	やや少
	ツマグロヨコバイ	多	多	－	－
	セジロウンカ	多	多	多	少
	トビイロウンカ	少	少	少	少
	斑点米カメムシ類	やや多	やや多	－	－
大豆	カメムシ類	多	－	少	－
	ハスモンヨトウ	多	－	少	－
かき	ハマキムシ類	やや多	やや多	－	－
	カキノヘタムシガ	やや少	－	－	－
なし	黒星病	少	多	－	－
果樹共通	果樹カメムシ類	多	多	多	多
夏秋トマト	灰色かび病	－	やや少	少	少
野菜一般	アブラムシ類	少	多	やや少	少
	ハスモンヨトウ	多	多	多	－
	タバコガ類	－	やや多	多	多
	アザミウマ類	少	少	やや多	－
施設野菜	コナジラミ類	多	－	－	－

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料 2]

【東海地方 1 か月気象予報】（抜粋）一名古屋地方気象台 令和 6 年 8 月 2 2 日発表一

《予想される向こう 1 カ月の天候（8 月 2 4 日から 9 月 2 3 日）》

- ・ 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 平均気温は、高い確率が 8 0 % です。
- ・ 降水量は、多い確率が 5 0 % です。
- ・ 日照時間は、少ない確率が 4 0 % です。
- ・ 週別の気温は、1 週目は、高い確率 5 0 % です。2 週目は、高い確率 8 0 % です。3 ～ 4 週目は、高い確率 7 0 % です。

[向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率（%）]

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
平均気温	10	10	80
降水量	20	30	50
日照時間	40	30	30

[気温経過の各階級の確率（%）]

	低い	平年並	高い
（1 週目）8/24～8/30	10	40	50
（2 週目）8/31～9/6	10	10	80
（3 ～ 4 週目）9/7～20	10	20	70

[参考資料 3]

《用語の基準と使用法》

- 1 半 旬 月の 1 ～ 5 日を第 1 半旬、6 ～ 1 0 日を第 2 半旬と表す。
- 2 時 期 平年並 平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い 平年値より 3 ～ 5 日早い。
やや遅い 平年値より 3 ～ 5 日遅い。
早い 平年値より 6 日以上早い。
遅い 平年値より 6 日以上遅い。
- 3 発 生 量 平年並 平年値を中心として、その値が ± 2 0 % 以内。
やや多い 平年値より、その値が 2 1 ～ 4 0 % 多い。
やや少ない 平年値より、その値が 2 1 ～ 4 0 % 少ない。
多い 平年値より、その値が 4 1 % 以上多い。
少ない 平年値より、その値が 4 1 % 以上少ない。
- 4 平 年 値 同一調査地点における過去 1 0 年間の値の平均値。

病虫害防除所ホームページに、病虫害発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病虫害の防除上の注意事項等については、「病虫害図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>